



第 1622 回例会 (2010-2011 年・第一例会) 平成 22 年 7 月 5 日(月)

19 : 00～ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

- 2. 国歌斉唱 「君が代」
- 3. ロータリーソング 「奉仕の理想」
- 4. お客様紹介
ガバナー補佐 塩路 良一様 (御坊 RC)
青少年交換学生 ティアゴ君

5. 出席報告

会員総数 69 名 出席者数 50 名
出席率 74.63% 前回修正出席率 81.16%

6. 会長スピーチ



会長 谷脇 良樹 君
皆様、こんばんは。今日から 2010 年 - 2011 年のスタートです。何からはじめてよいかわからぬ程の緊張ですが、よろしくこの一年、ご協力をお願いします。

本日は 2 組のガバナー補佐、御坊 RC の塩路様がお越し下さっております。遠路、大変ご苦労さまでございます。

交換留学生のティアゴ君も今夜が最後の夜間例会となります。君の笑顔をありがとうございます。

さて、海南東 RC の 36 代目の会長ということですが、チャーターメンバーをはじめ、先輩諸兄のご尽力と奉仕の理想のお陰で、今夜ここで、スピーチをしているところであります。とにかく次なる 37 年、38 年に向けての一里塚と言う気持ちで、よりよくバトンタッチができるよう頑張ります。実は 2 月に突然、椎間板ヘルニアとなり、以来、約 5 ヶ月以上もゴルフかた遠ざかっております。先日の IDM の時にあるゴルフをするメンバーに丁度、会長の準備と一緒にになってよかったですと違うかと言われました。どうも、うちのクラブのゴルフをする人は、チクチクとあまり気配り

なしに温かい激励をしてくれます。以前もある先輩会長が「遊び心を」と言われまして、どれもこれも温かい励ましの言葉として感謝しております。

R I 会長は「地域を育み、大陸をつなぐ」というテーマを発表しております。私は全てのロータリーの出発点は、この例会にあると理解しているものであります。米山梅吉氏はロータリーの例会は人生道場だといわれてますが、たとえ、R I 会長といえどもそのスタートは、どこかのクラブの例会からであるはずです。何かの縁でロータリーに入った我々仲間は、このように机をならべて食事をして色々な話をして、そしてロータリーの原点である奉仕と親睦について実践していく場そのものなのです。

今年度、その一つ一つを語れば、長くなりますので、別の機会にゆっくりと話すことにしますが、最初に特にご協力を仰ぎたい部分の話を今夜させていただき、初例会のスピーチとしたいと思います。

海南東 RC には 36 年の「らしさ」があります。今や 2640 地区では、その中核として搖ぎ無いところで来ていると自負してもいいのではないかと思うのは私一人でしょうか。でも、ロータリーも日進月歩しております。先の地区協議会で、時の村上ガバナーに野球で会員増強をしているクラブと暗に私どものクラブのことを 800 名の会員の中で言わされました。

それは、反面、それだけ我が海南東 RC を意識している証拠であると私なりに解釈しておりますが、それに恥じることのないよう内部の充実、内容の高さ、濃さを求めて、折りしも先の規定審議会で決議採択された研修リーダーシップ委員会の設置と言うことと合致するべく研修委員会を設け、我がクラブの人的財産の平尾パストガバナーにそのリーダーを取ってもらい、素晴らしい人材の委員の方々を擁し、とりわけ入会年次の若いメンバーの皆様の参加と古いメンバーの貴重なロータリービークルと頭脳を惜しみなく発揮してもらうべく、立案して、その機能を十分浸透してくれるをお願いするものです。

また、奉仕プロジェクトとして、職業、社会、国際、そして今回の新世代と言う奉仕部門の力を結集して、国際的に力を発揮、そして、ここに海南、海草での存在感をアピールできる事業が出来たらと思い、元来、ロータリーの奉仕、特に社会奉仕は単年度事業があるべき姿なので、その辺りも含めて考えて頂きたいと思

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：谷脇 良樹 幹事：上野山 雅也 SAA：三木 正博

います。

また、先月、台湾の彰化東南RCへの訪問をしていただきましたが、国内同士の交流もこのあたりで、やっともいいのではと考えております。RC野球大会での甲子園前夜祭に初めて参加した時のカルチャーショックからの発想ですが、親睦活動委員会を中心におまくいけばと思っております。

なんだ、あいつ花火ばっかり打ち上げてと言うことなのですが、とりあえず、意気込みだけでも感じていただきまして、皆様方に手をさしのべてもらってヨーヨーチでも完走することを願っております。バカなときはバカ、アホな時はアホと言ってください。バカはバカなりに、アホはアホなりに全力投球しますので、折角、貴重な時間をさいて、みなさん、RCに参加してくれているのですから、明るく楽しまなければ何もなりません。ロータリーを楽しんでやりたいです。どうか、ロータリーを楽しもう精神で、この一年、絶大なご協力ご鞭撻をお願いして初例会のスピーチと致します。有り難うございました。

7. ガバナー補佐スピーチ

ガバナー補佐 IM2組担当 塩路 良一様

新年度の緊張感の中にも貴クラブはアットホームな気分にて、ほつとしております。まずは、谷脇会長様はじめ新体制へご就任おめでとうございます。

私は、貴クラブ深谷様と同期のクラブ会長をしました御坊RCの塩路良一です。会長の同期会を毎年やっていまして、深谷様のボートでクルーズをさせてもらったことがありました。また、海南に祖父母がいましたので、子供のときから良くこの地へ来っていました。

さて、ガバナー補佐とは、地区ガバナーの意を受けて地区とクラブ間に立って風通しを良くすることが任務かと思います。このうち私はクラブの良さを吸い上げて地区へお伝えする方に、ウエイトを置きたいと考えています。

それでは1年間、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

8. 幹事報告

幹事 上野山 雅也 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山南 RC

7月16日(金) → 7月16日(金)
12:30~ ルミエール華月殿

和歌山中RC

7月16日(金) → 7月16日(金)
19:00~ ルミエール華月殿

和歌山東RC

7月22日(木) → 7月22日(木)
18:30~ フォルテ・ワジマ(ビアパーティ)

9. 委員会報告

花田 宗弘 君

青少年交換学生のティアゴ君ですが、本日の例会が最後の出席となります。一年間、ご協力有難うございました。

10. 新旧会長・幹事バッジ交換



新旧会長



新旧幹事

12. 閉会点鐘

次回例会

第1623回例会 22年7月12日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

決算報告、予算案審議・100%出席(通算)表彰

ガバナー補佐訪問(クラブ協議会)



☺会員誕生日

5日 田村健治君	16日 田中丈士君
5日 上田善計君	23日 田中秀夫君
10日 宮田敬之佑君	31日 井本充彦君

☺奥様誕生日

4日 角谷元子様	21日 嘉村和子様
18日 小久保マユミ様	

☺結婚記念日

11日 山田耕造君

☺一般ニコニコ

上中 善郎君	谷脇君、がんばれ！
新垣 勝君	祝！谷脇執行部。
奥村 匠敏君	谷脇会長の船出、頑張って下さい。
宮田 敬之佑君	"
三木 正博君	一年間、うまくいきますように！
宮田 貞三君	花畠さん、寺下さん、名手さん、一年間、ご苦労様でした。谷脇さん、上野山さん、三木さん、1年間、頑張ってください。
山名 正一君	谷脇年度、期待しています。会長はじめ、理事、役員の皆様、宜しくお願いします。
宇恵 弘純君	谷脇会長のリーダーシップのもと、当クラブの益々のご繁栄と地域社会への密着した奉仕を期待しています。

山畑 弥生君	谷脇会長、上野山幹事、三木S A A、一年間、身体に気をつけて頑張ってください。
岸 友子君	谷脇会長、上野山幹事、三木S A A、一年間、頑張ってください。
辻 亮君	谷脇会長、上野山幹事、三木S A A、一年間、ご苦労様です。
土井 元司君	谷脇さん、頑張ってください。
柳生 享男君	一年間よろしくお願ひします。
名手 広之君	新役員さん、頑張ってください。
吉野 稔君	谷脇会長、上野山幹事、三木S A A、一年間、ご苦労様です。
阪口 洋一君	新役員の皆さん、一年間、ご苦労様です。三木さん、頑張ってください。
谷脇 良樹君	一年間、よろしくお願ひします。幹事はじめ、理事、役員一同宜しくお願ひします。
角谷 勝司君	海南ふうりん祭りご協賛、有難うございました。
平尾 寧章君	塩路ガバナー補佐様、また来訪してください。
深谷 政男君	塩路さん、本日おこしいただき、有難うございます。
塩路 良一様 (ガバナー補佐、御坊RC)	祝、海南東ロータリークラブ。



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS ロータリーの友

変化の風

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、なんと驚くべき世界でしょう！ 技術の進歩はものすごい速さで進み、私たちの事業や専門職務に絶え間ない変化を起こしています。しかし、全世界に住む人々の約3分の1は、その暮らしにほとんど変化がないまま、最低水準の生活を続けています。これは極端な格差であり、心配の種の一つです。



2010-11 年度 R I 会長
レイ・クリンギンスミス

卓越した伝統と明るい未来

ロータリーは、卓越した伝統と明るい未来をもち合わせています。私の国際ロータリー（R I）会長としての第一の仕事は、各ロータリークラブの活力と実現性の強化、そして、社会が変化している中で、クラブを成功に導くことです。これは非常に重要な仕事です。

なぜならば、社会の根底に存在する問題に焦点を当て、その問題を軽減して、それによって世の中を良い場所にするのは各クラブだからです。

Wind of change (変化の風) という言葉は、私が1960年代初頭にロータリーの奨学生として南アフリカにいたころの、新しくて意義深い言い回しです。私のホストシティーであるケープタウンで最初に広まったこの言葉を、私たちの組織の変化に関して影響を与える社会の変化を考えるときに、ロータリーに適用できるということは思いがけないことです。

この慣用句は今 Winds of change (変化の風) として当時にも増して知られるようになりました。

最良の日はまだ先にある

私たちは今、国際ロータリーで改革の文化を享受しています。私たちは私たちの中核となる価値観をしっかりと維持すれば、プログラムや奉仕活動全体を見て、それらをより良くできるかどうかを見極める能力をもっています。私は多くのロータリアンたちがそれぞれのクラブや地区においても同様に、改善点を確認したり実施するために、この機会を活用されることを願っています。

私たちの33,000クラブでロータリーは息づいています。そして、「地域を育み、大陸をつなぐ Building Communities Bridging Continents」ことによって、向上するのはクラブなのです。

もし次年度、私たちがクラブをより大きく、より良く、そして、より力強くする手助けに成功したら、ロータリーの最良の日は、まだ先にあることが明らかになるでしょう。私たちはロータリアンで幸せです。私たちは共に、世界をより良い場所にすることができるのです。

歴史に残る1ページ 「ロータリーの標語」

ロータリーの公式標語「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の歴史は、ロータリーの初期の頃にまでさかのぼります。

1911年、オレゴン州ポートランドで開催された全米ロータリークラブ連合会の第二回ロータリー大会で「He Profits Most Who Serves Best」がロータリーの標語として承認されました。これは、前年にシカゴで開かれた第一回ロータリー大会で、ロータリアンのアーサー・フレデリック・シェルドンが行った演説を基に作られた標語です。シェルドンはその演説の中で次のように語っています。「他者に対する正しい経営の科学のみが引き合うのだ。経営とは人間的な奉仕の科学である。その仲間に最もよく奉仕する者が最も多く報いられる」





ロータリーの第二の標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の基となった演説をロータリー大会で行ったアーサー・フレデリック・シェルドン。

ポートランドでのロータリー大会は、もう一つの標語「超我の奉仕」が誕生するきっかけともなりました。大会中にコロンビア川でボート乗りを楽しんでいた米国ミネソタ州ミネアポリス・ロータリークラブの会長、ベン・コリンズは、シアトルのロータリアン、J.E.ピンカムとロータリークラブを組織するのにふさわしい方法について話し合っていました。その中でコリンズは、自分のクラブで採用していた理念「無私の奉仕(Service, Not Self)」を紹介しました。ピンカムは、同じボートに乗っていたポール P.ハリスを呼んで会話を続けました。ハリスから依頼されコリンズは大会で演説を行い、この文言「無私の奉仕」が熱烈に歓迎されたのです。

この 2 つの標語は、1950 年にデトロイトで開催された RI 国際大会で、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる (He Profits Most Who Serves Best)」と「超我の奉仕 (Service Above Self)」に修正され、ロータリーの公式標語として正式に承認されました。1989 年の規定審議会では、「超我の奉仕」がロータリーの第一標語として採択されました。これは、この言葉が利己的でないボランティア奉仕の哲学を最もよく言い表しているとの理由からです。一方、「He Profits Most Who Serves Best」は、2004 年規定審議会で「They Profit Most Who Serve Best」に修正され、さらに 2010 年規定審議会で現在の標語「One Profits Most Who Serves Best」となりました。

未来の夢試験段階が始まる

整理統合された新しい補助金構成を試行する 3 年間の未来の夢試験段階がいよいよ始まりました。

2009 年 6 月に数百の申請地区の中から選ばれた 100 地区が、7 月 1 日から正式に試験段階に入りました。これら試験地区は、今後 3 年間、財団の新しい補助金モデルの改善や修正を行っていくため、この補助金モデルを試験的に導入します。2013 年 7 月からは、全地区がこの補助金モデルを導入することになります。「未来の夢計画を通じて、地域社会、そして世界に、これまでよりも効果的に奉仕していくと期待しています」モントリオールで開かれた 2010 年 RI 国際大会において、グレン E. エステス・シニア 2009-10 年度財団管理委員長はこう語りました。「私たちの持つリソースのすべてを最大限に生かしながら、平和を妨げているさまざまな課題に取り組み、それらを一つずつ解決していくことができるでしょう」国際大会中に開かれた未来の夢ネットワークづくり

のセッションに参加した第 1120 地区（英国）の元ガバナー、ジェレミー・ボイジーさんは、次のように述べています。「より規模の大きいプロジェクトに力を結集することで、さらに多大な成果を挙げ、持続可能なプロジェクトを行うことができるでしょう。これまで、私たちは財団とともに多くの活動を行ってきましたが、この新モデルによって、さらに財団が利用しやすくなるはずです」

試験地区のグループは、ロータリー世界の構造を可能な限り正確に反映するよう、慎重で厳重な審査を経て選ばれました。これら 100 地区は、試験段階に 3 年間参加し続けることを約束し、試験段階に先立って 3 年間の任期を務めるロータリー財団委員長を任命することが義務づけられました。さらに、試験地区のガバナー・エレクトと財団委員長は、2010 年国際協議会において特別研修を受けました。

未来の夢計画の下では、2 種類の補助金が提供されます。年に 1 度、DDF（地区財団活動資金）の 50 パーセントまでを地区が一括で申請できる新地区補助金は、差し迫ったニーズに迅速に応える柔軟性を備えているほか、クラブが計画する地元地域や海外のプロジェクトに利用できます。試験地区は、試験段階に参加しない地区と協力して行うプロジェクトにも、新地区補助金を活用することができます。一方、グローバル補助金は、1 つまたは複数の重点分野と関連する比較的規模の大きい持続可能な活動を支援します。クラブと地区は、独自にグローバル補助金プロジェクトを立案できるほか、財団と協力組織が協同で開発したパッケージ・グラントの活動を実施することもできます。



未来の夢試験段階における新地区補助金の第一号は、タイにある学校の生徒たちにコンピューターを寄贈するプロジェクトなど、さまざまな活動を支援する予定です。試験段階は7月1日より開始されます。写真提供: 第3330地区

クラブと地区が独自に立案する グローバル補助金

クラブと地区は、地区財団活動資金 (DDF) あるいは現金を拠出し、財団からの上乗せ補助金を受領して、グローバル補助金活動の資金を調達することができます。グローバル補助金は、2 つのクラブまたは地区が提唱したもので、施国と援助国の提唱者は、未来の夢計画の試験地区である必要があります。協同提唱者の双方が、すべてのグローバル補助金活動の計画と実施に積極的にかかわること。これには、補助金活動の全段階において双方が分担する責務に関するコミュニケーションと計画も含まれます。